

D8 深層インタラクション

アバターロボットによるモラルインタラクション技術の構築

概要

アバターロボットを利用したサービスは、将来、店員や警備員といった様々な場面での利用が期待されています。これらのサービスでは、人々の低モラルの行動を予防し、環境に安心感をもたらす役割を担っています。本発表では、アバターロボットを介して、環境に安心感をもたらす「モラルコンピューティング」に関する取り組みを紹介します。

特徴

- 実証実験を通じ、友好的なサービスに加えてモラルコンピューティングの能力を持つロボットデザインが、顧客や店員にとってポジティブに受け入れられることが明らかになってきました。
- モラルコンピューティングの基礎知見解明に向け、友好的な役割とモラルコンピューティングの機能を持った警備員アバターロボットや店員アバターロボットの構築を、京都大学の神田研究室と連携し進めています。
- 「アバターロボットが訪問客のより良い振る舞いを引き出す技術」に加え、「アバターを操作するオペレータのより良い振る舞いを引き出す技術」の構築に向けた取り組みも行っています。

今後の展開

- 構築したアバターロボットサービスによる実証実験を商業施設で繰り返し実施していく予定です。複数の実証実験を通じて、人々のより良い振る舞いを引き出すためのモラルコンピューティング技術の解明を進めていきます。

テーマ「ともに究め、明日の社会を拓く」との関連

- 人々のより良い行動を引き出すモラルコンピューティング技術の構築を進めていきます。このモラルコンピューティング技術によって、アバターロボットの存在によって安心感を高めるアバター共生社会の実現を目指しています。



道案内を行う警備員ロボット



ツアーガイドロボット



店舗を訪れた訪問客の接客を行う店員アバターロボット

